

～ 心のつながりを求めて ～

20年以上前のことだったと思います。テレビであるドキュメンタリーを見ていました。ヨーロッパを列車で旅する番組でいろいろな家族がそれぞれの旅を楽しんでいました。60代のある白人の夫婦がインタビューに答えていました。「私達はオーストラリアから来ました。今度娘がドイツに留学します。その前に家族三人でこの旅を楽しもうと思って。あっ、娘が来ました。」と夫婦が紹介した娘さんを見た私の目はテレビに釘付けになりました。その娘さんは明らかに東洋人であり血のつながりがないの是一目瞭然でした。両親は愛情たっぷりの眼差しで娘を見ていました。その当時の私は結婚も未だで、子どもを持つということについても考えていませんでした。しかし、その親子のことは本当に自然で素敵な親子であったと脳裏に印象づけられました。

時がたって私も結婚し、当然子どもを持てるものと思っていましたが流産。流産後に体調をくずし入院。子どもを亡くしたというのに産婦人科病棟で赤ちゃんの声を聞きながらの入院生活はつらいものでした。その後も子どもはできず、夫婦二人の生活もいいかなと思い始めたころに、以前テレビで見た親子のことを思い出しました。血がつながっていなくてもお互いを慈しみ合う姿。人生の半分まで来て私に足りないことは、やはり子どもを育てたいとの思いではないだろうか？子どもを育てることによって私達も新たな自分に出会いたいと今はそういう思いでいっぱいです。

先日から先輩里親さんの子育て経験談を拝聴させて頂いていますが、皆さんとても素敵な表情で語ってくださいます。まさに私達夫婦がめざしたい姿と思う今日この頃です。